



豊平の福祉に愛の手が伸びる
豊平地区マークと福祉標語

とよひら

題字 関 正 明

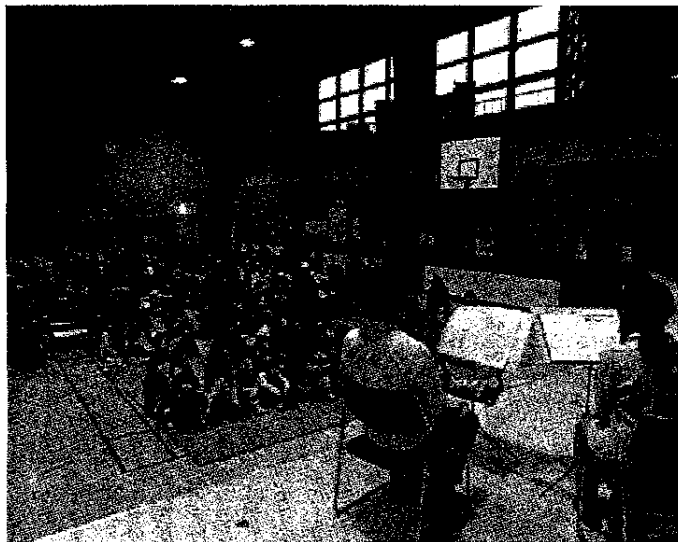
豊平地区町内会連合会

広報紙第27号

発行責任者 関 正 明

札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12

電話 (011) 811-9435番



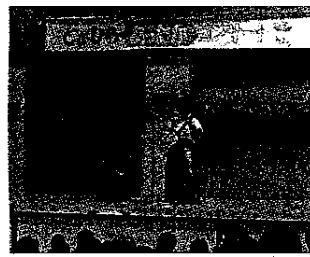
平成26年2月28日(金)午
後5時から豊平会館体育室に
おいて、「とよひらあつたか
コンサート」が開催されまし
た。
子ども達による太鼓演奏、
若い父母による吹奏楽の演奏、
プロ奏者の三味線による演奏
の3部構成のコンサートでし
た。
音響設備は司会者のマイク
のみで、音源は生で会場の人々
の耳へ確実にとどけられまし
た。
開始前から会場のステージ

直近の下では、40人程の子
ども達が厚いクッションを敷い
て陣どつています。
後方は大人用の椅子が奥ま
で並べられ、ステージに用意
された4つの太鼓の前に登場
したのは豊平児童会館太鼓部
の12人、青いハッピに豆しほ
り鉢巻きの姿でした。
3人1組でそれぞれの太鼓
を叩きます。
心を一つにして表情は真剣
そのもので、強く大きく太鼓
の音が鳴ります。
日頃の成果を発揮して終了

あい間には、つがる三味線
の悲しい伝承の話もあり、弾
かれる音も身にしみて哀れに
聞こえて感じられました。
時には力強く又ささやく様
な繊細な音色にも気持ち揺
さぶられたりと、聞かせ所
では、会場から拍手が数回に
わたり発生していました。
生活の中から生きるための

一旦休憩に入り、熱い濃厚
なココアや、お茶が振る舞わ
れて、より一層会場は熱気が
立ち込めました。
最後に登場したのは、プロ
三味線奏者の竹内獅士丸さん
津軽あいや節を始め民謡、歌
謡曲、童謡を奏で、又弦を調
整しての津軽じょんがら旧節、
津軽じょんがら新節を披露し
てくれました。

すると、最前列に陣取った子
ども達から、ひと際高い歓声
が上ががり、大人の人達からも
拍手、昨年の春に結成された
とは思えない様な演奏でした。
次に演奏されたのは、清田
ファミリーアンサンブルの若
い父母の皆さん7名での吹奏
楽でした。
バイオリン、フルート、等
音色の特長をユーモアを交え
ての紹介があり、曲毎に丁寧
な説明もありました。
曲は、子ども向け、演歌、
ポップス、バラード等を演奏
され、親しみと楽しさが会場
を包みみました。



2時間のコンサートでした
が、ここばかりは、冬の宵で
賑やかさと熱気に包まれたと
ころでありました。
終了する頃には、椅子席も
約6割ほどが埋まっています。
終わって外へ出ると日も暮
れて、帰路へつく人々は、又
あつたらこようねと声を掛け
合って、帰って行きました。
寒いこの時期、「一緒にあつ
たかライブ」を象徴する様な
おだやかな1日でした。

底に流れる物を感じ取った
人々が感動していました。
感性の豊かな子ども達は初
めての経験で、もつと他の物
を掴み取ったのかも知れませ
ん。子どもといえども鑑賞す
るマナーの良さに感心致しま
した。

春を呼ぶ

「あつたかコンサート」開催



3月11日、日本を恐怖に巻
き込んだ東日本大震災が発生
し、3年目を迎えた今でも私
達の脳裏には記憶として忘れ
ることができません。
そんな中で、町連防火部で
は3月11日、豊平会館二階大
広間において、札幌市危機管
理対策課長の村井広樹氏を講
師としてお招きし、「防災研
修会」を開催いたしました。
町連副会長をはじめ、各町
内会からは防火部の正副部長
が出席し、まちづくりセンタ
ー所長も出席され、「災害危機
にそなえて、地震・風水害・
土砂災害」についてスライド
を交え、80分にわたり熱心な
研修を受けました。

冒頭、村井課長より「災害
の心配を日頃感じていますか」
との市民データーを示され、
市民の7割の人が心配はして
いるが、災害の備えは3割の
人しか備えていないとのデ
ーターを示され、「自分は大丈
夫だと思っている潜在意識が
多くみられる。」との事で、
日常より備えをしておく事の
重要性のお話があり、その後
スライドを通して過去に札幌市
内で実際に起きた台風、風水
害、局地的集中豪雨などの被
害、特に平成18年9月の台風
18号は建物崩壊や死者4名、
負傷者96名もの痛ましい災害
となり、甚大な損失でありま
した。

また、災害想定による豊平
川氾濫シミュレーション、地
震シミュレーションなど、様々
な角度から予測された被害想
定により、過去に起きた災害

は、必ずや将来的に起こる可
能性を示し、市民に甚大な被
害が出る事を示唆されました。
特に札幌市の地震シミュレ
ーションによると、震度7で被
害想定は建物崩壊が11万2千
棟、死者2千50名、負傷者3
万5千名となっています。
また、地震直後を想定する
と、多くの建物が倒壊し、火災
が発生し、停電や断水が起き、
道路は大渋滞となり消防車両
食料等の運搬車両も動けな
くなる恐れもあります。
その時、私達はどのように
行動すべきか是非考えなけれ
ばなりません。

公助には限界がありますの
で、いざという時には私達一
人一人が日頃から災害に備え
ておかなければなりません。
あくまでも基本は自助であ
り、究極は共助、地域住民の
協力が必要となります。
最後に村井課長より、「地域
においては防災意識を高める
為に一人一人が一步を踏み出
さなければ始まりませんので、
皆さんで実践してください」
との言葉で、研修会も無事に
終了し、参加した方々は改め
て防災意識を強く持ちお互い
共有す
る事が
出来、
有意義
な研修
会とな
りました。

町連防火部では、3月11日、日本を恐怖に巻き込んだ東日本大震災が発生し、3年目を迎えた今でも私たちの脳裏には記憶として忘れることができません。そんな中で、町連防火部では3月11日、豊平会館二階大広間において、札幌市危機管理対策課長の村井広樹氏を講師としてお招きし、「防災研修会」を開催いたしました。町連副会長をはじめ、各町内会からは防火部の正副部長が出席し、まちづくりセンター所長も出席され、「災害危機にそなえて、地震・風水害・土砂災害」についてスライドを交え、80分にわたり熱心な研修を受けました。冒頭、村井課長より「災害の心配を日頃感じていますか」との市民データーを示され、市民の7割の人が心配はしているが、災害の備えは3割の人しか備えていないとのデーターを示され、「自分は大丈夫だと思っている潜在意識が多くみられる。」との事で、日常より備えをしておく事の重要性のお話があり、その後スライドを通して過去に札幌市内で実際に起きた台風、風水害、局地的集中豪雨などの被害、特に平成18年9月の台風18号は建物崩壊や死者4名、負傷者96名もの痛ましい災害となり、甚大な損失でありました。また、災害想定による豊平川氾濫シミュレーション、地震シミュレーションなど、様々な角度から予測された被害想定により、過去に起きた災害

町連防火部では、3月11日、日本を恐怖に巻き込んだ東日本大震災が発生し、3年目を迎えた今でも私たちの脳裏には記憶として忘れることができません。そんな中で、町連防火部では3月11日、豊平会館二階大広間において、札幌市危機管理対策課長の村井広樹氏を講師としてお招きし、「防災研修会」を開催いたしました。町連副会長をはじめ、各町内会からは防火部の正副部長が出席し、まちづくりセンター所長も出席され、「災害危機にそなえて、地震・風水害・土砂災害」についてスライドを交え、80分にわたり熱心な研修を受けました。冒頭、村井課長より「災害の心配を日頃感じていますか」との市民データーを示され、市民の7割の人が心配はしているが、災害の備えは3割の人しか備えていないとのデーターを示され、「自分は大丈夫だと思っている潜在意識が多くみられる。」との事で、日常より備えをしておく事の重要性のお話があり、その後スライドを通して過去に札幌市内で実際に起きた台風、風水害、局地的集中豪雨などの被害、特に平成18年9月の台風18号は建物崩壊や死者4名、負傷者96名もの痛ましい災害となり、甚大な損失でありました。また、災害想定による豊平川氾濫シミュレーション、地震シミュレーションなど、様々な角度から予測された被害想定により、過去に起きた災害

3月11日 町連防火部 町連防火部 町連防火部

町連防火部 町連防火部

町連防火部 町連防火部

緊急時対応の…… 9・9カード作りました

とよひら福祉のまち

推進センター

世の中は今まさに、高齢化社会になりました。これはみんなが健康に気をつけて長生きをするようになったことの結果です。昔は五十年もなれば本当にお年寄りでしたが、今は若さはつらつと動き盛りで、頼もしい、これからの人々です。しかし、人間は生身ですから身体が老化し、劣えることを避けることが出来ません。もし高齢になり病気になる時、まわりに子や孫がいるのであれば余り問題はないのですが、今や少子化・核家族化社会で子や孫は少なく、離

れてそれぞれの家庭を構えているのが実状です。お年寄りは夫婦または一人暮らしの生活をしているのです。それに、永く住み慣れた家での生活は心地よく、他に気がねすることなく気楽に生活が出来ます。いまさら子供等の家庭に入っ

てお年寄りですが、今は若さはつらつと動き盛りで、頼もしい、これからの人々です。しかし、人間は生身ですから身体が老化し、劣えることを避けることが出来ません。もし高齢になり病気になる時、まわりに子や孫がいるのであれば余り問題はないのですが、今や少子化・核家族化社会で子や孫は少なく、離

袋に入れてあれば、救急隊員はより早く適切な対応をとることが出来るでしょう。そのため、救急隊員が気づきやすいように、豊平区全体で共通の目立つ用紙を使い、同じ9・9カード様式にして頂くよう区役所にお願いをしました。活用される皆さんには出来れば電話機の近くに置くようにして下さい。これらのことについては豊平消防署と打ち合わせをしてご理解をいただいております。是非ともご利用下さい。

環境衛生部研修会

今年もガトーキングダムで

とのこと

平成25年度豊平地区の環境衛生部、クリーンさつぽろ衛生推進員の研修会は北区のガトーキングダムサッポロを会場として32名の推進員が参加し、12月1日に開催されました。

講師は札幌市環境局の事業廃棄物課八田担当係長にお願

いし、テーマは「一般廃棄物・事業廃棄物について」として90分にわたり講演していただきました。

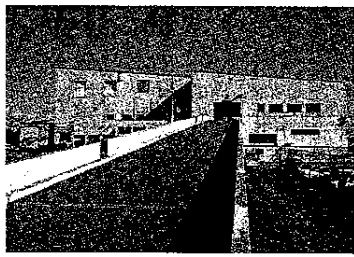
内容は、ごみの分類について、一般家庭ごみや事業所から出るごみは札幌市のごみ処理場で扱い、豊平区では西岡清掃工場で処理を行っている

一方、産業廃棄物(廃プラスチック、金属くず、がれきなど20種類)は固形燃料として再生するために燃料化事業として、北区篠路町福移に民間の篠路資源センターが札幌市より業務を引き受けて平成2年に設立され、運営しています。

札幌市では産業廃棄物を再生し資源として利用するために全国に先駆けてこの固形燃料化事業を進めております。

札幌市のごみ処理は、事業系ごみ処理量の割合が他の都市に比べて多い点が特徴で、継続的に排出される事、質的

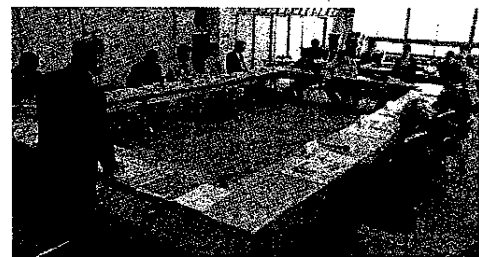
に良く均一であり、資源化に適しているごみである事から資源化事業が可能となりました。昼食の後、午後からは、参加者で豊平地区の環境などについて懇談し、リサイクルを推進しようという意識をより一層高めることができた有意義な一日でした。



豊平横断歩道橋の撤去に向けた地元意思固まる

昭和四十二年に設置され

も日中の12時間平均で50人という調査結果が発表され、最終的に「撤去すべき」という方向でまとまりました。また、撤去後の交通安全対策として、乱横断の防止や横断歩道の徹底利用を呼び掛ける街頭啓発の実施やPTAの協力による子どもへの指導などについて話し合われました。協議会の結果を受けた北海道開発局の判断が待たれます。



スキーを楽しむ会

今年もバス3台で
ばんけいスキー場へ

ばんけいスキー場へ向け出発しました。スキーを楽しむ会は、昭和四十四年頃、豊平地区町内会連合会と体育振興会の主催で始まり、町連会長以下役員全員が協力し、子ども達の健全育成と体力向上、そして何よりも親子でスキーを滑りコミュニケーションを促す行事としてスタートしたと聞いています。

最初の頃は後楽園北広島スキー場へバス7台で行ったこともありますが、又、札幌市南区にある小林峠付近のコパランドスキー場を借りたこともありました。

その頃は、青少年育成部が担当し、学年別回転競技、小高い丘からのミカン拾い、そしてソリ滑り競技会を行い、グレन्दではそれぞれが滑走を楽しんでおりました。

又、当時の昼食は、女性部が調理する豚汁でした。これが大変な作業でして、最初はユタカ幼稚園の厨房をお借りして、後には当時の連絡所の

研修室の厨房を借り、下拵えした物をスキー場へ運び、大きな鍋で煮て、お昼の時間に参加者に食べてもらいました。最初は、テントを何張りか持って行き、その中でブタ汁を煮ていましたが、テントの中や外で食べる参加者もおりました。年によつては、雨の日も吹雪の日もあり、テントでは苦労したことから、その後プレハブを借りてその中で昼食をとるようになりました。女性が主ですが、大塚という事で、ロッジの食堂の食券対応となりました。

長い間女性部にお世話になり、誠に有難うございました。と感謝の念あるのみです。時が過ぎて、コパワールドスキー場が開鎖されることになり、役員会で検討の結果、隣のばんけいスキー場で開催する事になりました。

ばんけいスキー場は広く、多くの人達が利用しているため、回転競技やミカン拾い等は出来ず、グレन्दを滑るのみとなりましたが、参加者が



(OK)

女性部 余市の果樹園と朝里川温泉の旅

十月九日、二年振りに女性部のレクリエーションを行ってきました。当日は天候にも恵まれ、朝九時まちづくりセンターを参加者全員で元気いっぱいに出発しました。途中小樽フェリー乗場で休憩をとり、中を見学したり、パンフレットをもらったり、出港まじかの新渡行きのフェリーには足早に船の中に入って行く旅行者の姿も見られました。

小樽を出発して四十分位で余市の中井果樹園に着きました。果樹園は山の上であり、リンゴ畑から眼下には余市の町並と向こうには日本海が眺められ一枚の絵のような風景が美しく見られました。

その中で人々は、たくましく生活を営んでいるのだろうと思います。



今年も恒例の料理交流会が、3月6日に開かれました。この行事に食生活改善推進員協議会が協力することになったから、もう5年程になりましたが、毎回「どこの国の料理を習えるのだろうか」と期待して打ち合せの会議に出ています。

今年も恒例の料理交流会

今年、2年連続参加のニュージランドの女性が、デザートとしてバイクレットという、今話題のパンケーキを教えて下さいました。

中国は初参加の若い御夫妻で宮保鶏丁(コンパオチキン)という料理で、鶏肉と生のピーナッツを使った、ちよつぱりピリ辛の炒め物、油でじっくり炒めたピーナッツのカリカリ感が新感覚でした。

レバノンには男性講師で、在札は彼一人とのこと、私としては初体験のレバノン料理でムジャッタラという主食風料理、レンズ豆とお米と大量のみじん切りの玉ネギを、長時間間煮込んだ、クミンの香りがカレー味?と思わせて、実はとてもやさしい味の「トドロト口ふわふわソット風豆料理」



枝っぱいにたわわに実った真赤なリンゴが緑の葉の中できれいで一足速いクリスマスツリーを見ている様な気がしました。

赤くて大きなリンゴを枝からもぎとりガブリとかむと、とれたてのリンゴは皮も身もカチツと堅く中は甘酸っぱいおいしい果汁が口の中に広がるとてもおいしい戴きました。

このリンゴの味が初恋の味なのだろうか、などと思いつながらすこしづつ分けあって「これおいしい、これはすこし酸っぱい」などと賑やかにしゃべりをしながら楽しい一時をすごし、それぞれに家族やお友達にお土産を買ったことができました。

朝里川温泉ではすでに昼食の時間で、ブドウやリンゴを

第1回こりんんとめいたん杯 カーリング大会 豊平地区も出場

豊平区月寒に完成した「どろぎんカーリングスタジアム」を記念して豊平区では11月17日(日)に「第1回こりんんとめいたん杯カーリング大会」が区内各地区から12チーム73名が参加して開催されました。

通年利用出来る5レーンの本格的な競技場で将来団体やアジア大会も開催される予定であるとの事、私達豊平地区でも参加しようと育成委員会が主体となってチームを結成し、3回の練習会を開催し、独自にも練習を重ねてきました。

練習の後は筋肉痛などが出るのではと心配しましたが、案外スムーズにストーンを投げる事ができました。

しかし、強さがなかなか合わず、試合経験なし、とにかく中心の丸い点数の取れる所にストーンを投げる練習と、指導員の方にも教えを受け何とか練習をこなしてきました。

当日は18名の参加者が豊平会館研修室に集合して、3班に分かれて、各講師からその国の料理を習い、出来上がった物をそれぞれ交換し、5種類の料理をいただきました。

今回初めての参加の方や何回も参加している常連さんもお喜びさん楽しんでお楽しみっぱいの交流会になりました。ごちそう様でした。

N・Y

残念! 予選善戦で敗退

グの相手は地元月寒カーリングサークルAチームと中の島ローリングストーンズBチームとの対戦、いずれも練習や試合を重ねて来ている様で強そうでした。

我がチームは苦戦、しかし1勝1敗、残念ながら得失点差で決勝リーグには進めませんでした。優勝は月寒カーリングサークルBでした。

決勝トーナメントに進めなかったチームでは1人が大きなタライに乗り後ろから押してハウス(円)の中心に近いチームが勝つという人間カーリングが優勝いたしました。

平成24年札幌市でウインタースポーツをしている成人は11.7%であるとの事、カーリングスタジアムで昨年9月まで1年間体験や指導を受けたのは4,749名、一方子どもは無料体験は338名、教室の参加者は134名、であったとのこと、多いか少ないかわかりませんが、今年も育成委員会ではチームを結成して参加しようと計画しています。

冬の運動に皆さん是非参加しませんか。



「あなたを冬みちアドバイザーに認定します」。三日市豊平区長から認定証を授与され、ニッコニコの子どもたち。昨年12月18日及び本年1月28日の二日間、豊平小の6年生63人を対象に、「冬みちアドバイザー認定講座」が開催されました。

この講座は、豊平区土木セクターが今年度、新規に企画した事業で、小学生に冬の道路(冬みち)や札幌の除雪について学んでもらい、得た知識を「冬みちアドバイザー」として家族など、身近な人たちに伝え広げていってもらおうというもの。

数年前から、雪に関する出前講座を授業に取り入れていた豊平小で行われました。

一回目の講座は「雪の基礎講座」。雪の降る仕組みや除雪と排雪の違い、除雪機械の種類、除雪の費用など、札幌の除雪に関する基本的なことを学びました。クイズを取り入れたわかりやすい内容に子どもたちは大興奮、楽しみながら知識を習得していました。

二回目は、グループに分かれて、「スクールゾーンの危険場所マップ」を作成。冬休みの宿

ホクもワタシも冬みちアドバイザー!

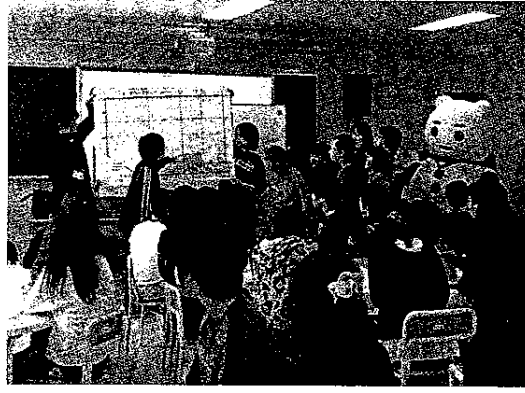
「あなたを冬みちアドバイザーに認定します」。三日市豊平区長から認定証を授与され、ニッコニコの子どもたち。昨年12月18日及び本年1月28日の二日間、豊平小の6年生63人を対象に、「冬みちアドバイザー認定講座」が開催されました。

この講座は、豊平区土木セクターが今年度、新規に企画した事業で、小学生に冬の道路(冬みち)や札幌の除雪について学んでもらい、得た知識を「冬みちアドバイザー」として家族など、身近な人たちに伝え広げていってもらおうというもの。

数年前から、雪に関する出前講座を授業に取り入れていた豊平小で行われました。

一回目の講座は「雪の基礎講座」。雪の降る仕組みや除雪と排雪の違い、除雪機械の種類、除雪の費用など、札幌の除雪に関する基本的なことを学びました。クイズを取り入れたわかりやすい内容に子どもたちは大興奮、楽しみながら知識を習得していました。

二回目は、グループに分かれて、「スクールゾーンの危険場所マップ」を作成。冬休みの宿



自衛隊協力会 雪像制作見学会

1月21日、自衛隊が協力しているさっぽろ雪まつり大雪像の制作の様子を見学するツアーを自衛隊協力会豊平分会が初めて開催し、15人が参加しました。

見学したのは、大通り8丁目の大雪像「アティマド・ウツダウラ」。高さ12mもあるインドの建築物で、完成までには30日間延べ3、800人の自衛隊員が携わるそうです。アイスブロック工法と言われる独自の技術で、1、100



個ものパーツを貼り付けて制作すること、寒い中、もくもくと作業を進めている姿に、参加者は感心することしきりでした。

また、雪像をきれいに見せるための「化粧雪」は、定山溪から運んできているそうで、真っ白というより青白い雪で、とても綺麗でした。

作業工程を一通り見学した後、参加者5人がヘルメットと命綱をつけて足場を登り、その高さの大きさを体験。陸上自衛隊の高い技術力と精神力を実感した一日となりました。

十八分区定期総会・ 創立六十五周年記念祝賀会開催

豊平第十八分区町内会は、二月二十二日午後四時より札幌フローラに於いて二十六年定期総会及び創立六十五周年の節目を祝う祝賀会を開催した。

総会は物故者への黙禱に続いて吉原会長の挨拶、議案報告、監査報告、質疑応答、役員改選期に当たり改選の結果、新会長に千葉玉枝さん他が選任されました。

次いで六十五周年の節目に当たって長年役員として会の活動に献身的に尽力され町内

会の発展に寄与された七名の方に豊平区長からの感謝状を、豊平まちづくりセンター・佐藤所長より贈られ、吉原会長より渡部宗男顧問、曾根忠相談役、並びに会の活動に大きな功績のあった九名の役員に感謝状を送られました。

これに対し高橋沙様が代表して謝辞を述べられました。会場を移し新年交礼会、六十五周年の祝賀会にうつりま

した。ご来賓のお祝辞をいただき、祝杯の首頭により開宴となり

い親交を更に深め終了いたしました。今後も「初心忘れず」の言葉

創立50周年記念を振り返って

豊平第一分区町内会

当町内会の創立50周年記念式典・祝賀会をルネッサンスサッポロホテルで、10月27日に執り行い、町内会活動に尽力した人々を表彰し、歴代の町内会長お二人には、特別記念品を贈呈出来ましたことは、私共の最も嬉しく、慶ばしいことでありました。

尚「旭水町内会五十年史」はまだ若干残部がございますのでご希望の方には無料で差し上げます。

連絡先 柴田宅 (0811-4339)迄



五月九日(金) ○とよひら花LAND植花 五月から六月まで ○とよひら福祉のまち推進センターお元氣グッズ配布 五月下旬、九月下旬 ○春の親子レクリエーション 六月下旬 ○鉄一が里とよひら塾第一講座 歴史講演会 六月下旬 ○夏の交通安全運動街頭啓発 七月十一日(金) ○豊平神社例大祭 七月十五日(火) ○子ども盆踊り大会 八月下旬 ○旭水盆踊り大会 八月九日(土)・十日(日) ○志村鉄一慰霊祭 八月十六日(土) ○とよひらふれあいまつり 八月二十四日(日) ○とよひらおもしろひろば 九月上旬 ○豊平川神社秋季例大祭 九月十三日(土)・十四日(日) ○秋の交通安全推進運動街頭啓発 九月二十二日(月) ○交通安全祈願祭 九月下旬

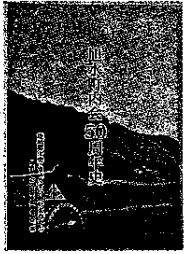
【防災コラム】 豊平区のコミュニティFPMはFPMアップル76・5MHz。市内で災害が発生した場合、優先的に非常放送を行います。

中川路一氏 札幌市自治振興 功労者章受賞

去る平成二十五年十一月十九日(火)午後二時より札幌パークホテルにおいて上田文雄札幌市長より札幌市自治振興功労者章を受章されました。

この賞は地域活動を通じ自治振興に特に功労のあった方に贈られるものです。中川氏は若くして町内会活動に参画し昭和五十二年から豊平地区第十七分区町内会役員になられ平成八年から同町内会会長として現在に至っています。また平成十一年から豊平地区町内会連合会副会長として地域の発展に尽力する一方平成六年より豊平地区青

旭水町内会は昭和三十八年に創立され平成二十五年に創立五十周年という節目の年を迎えました。その前身は街灯組合、衛生組合等が町内会の役割を果たしていました。先ずは記念誌を発行すべく平成二十五年年明け早々から十一名による編集委員会を編成し発行作業に取り掛かりました。当初は過去の資料に乏しく暗中模索の状態が手当たり次第に資料集め、写真集めを行って行く中で今まで余り知られていない資料も見つかり何と一〇〇頁に及ぶ五十年誌を発行することが出来ました。五十周年記念事業の一端として旭水会館リニューアルも併せて行いました。記念式典、記念祝賀会は去る平成二十五年十月十九日札幌パークホテルにおいて開催



新しい住民とも交流関係も徐々に良くなってきました。広報部も出来、新しく町内会に入会していただく広報紙も発行いたしました。1分区町内会のモットーとして「和と共同」、「心温かく



祝賀会では、見事なお祝いの踊りが披露され、来賓の出席された方々より素晴らしい歌で盛り上げていただきました。出席した第一分区町内会会長で、「明日があるさ」を歌

- 豊平地区町内会連合会から 少年育成委員会会長として豊平地区の青少年の健全育成にご努力されています。
- ☆お知らせ☆
- 札幌市優良青少年育成者表彰 大窪祐子さん(豊平六の三)
- 札幌市自治振興功労者表彰 中川昭一さん(豊平七の七)
- 札幌市産業経済功労者表彰 山田文男さん(豊平三の二)
- クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会会長表彰 鷲田日出久さん(豊平三の五)
- 豊平区防火委員会 防火活動上功労のあった個人 武田重雄さん(豊平八の十)
- 今後の主な豊平地区の行事 今年九月まで
- 春の交通安全運動街頭啓発 四月十日(木)
- 豊平川神社春季例大祭 四月十五日(火)
- 豊平地区町内会連合会総会

●編集委員 中川 昭一 松野 博志 佐藤 郁子 柴田 崇行 宮越 方利 細井 正勝 石川 紀男 下演 明幸